

# はばたき

2019 夏号 第54号[通巻第165号]  
令和元年8月発行[季刊]

編集・発行 / 佐世保中央病院 佐世保市大和町15番地(広報委員会)  
TEL 0956-33-7151 FAX 0956-33-8557 E-mail sch@hakujujikai.or.jp  
佐世保中央病院ホームページ <http://www.hakujujikai.or.jp/chuo/>



はばたき第54号 ● もくじ

- ①② 白十字会Institute開催報告
- ③ 病院こども探検隊開催報告
- ④ 人間ドック機能評価優秀賞受賞
- ⑤ 90周年記念事業ポスター
- ⑥ 外来診療担当表①
- ⑦ 外来診療担当表②

第25回 白十字会 Institute  
白十字会グループ 100周年に向けての第一歩  
～白十字会の未来を見据えて～

デイズカシム  
施設の展望を語る



第一部  
多職種連携及び病棟・病診連携について  
(感染・安全・緩和・看取り)

第二部  
白十字会グループ 100周年に向けての第一歩  
「白十字会の未来を見据えて」



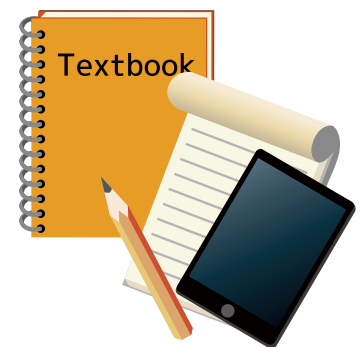
# 第25回 白十字会 Instituteを 開催しました



令和元年7月6日(土)、アルカスSASEBOにて、第25回白十字会Instituteを開催しました。

白十字会Instituteは、白十字会グループ内の病院・施設間の交流を図ることを目的に始まり、今年で25回目の開催となります。今回のメインテーマは、『**白十字会グループ100周年に向けての第一歩 ~白十字会の未来を見据えて~**』とし、今年度で90周年を迎えた白十字会のこれからについて考える内容としました。

第一部では、「多職種連携及び病病・病診連携」のテーマのもと、感染・安全・緩和・看取りの面からテーマに沿って発表がありました。白十字会グループでは、医療と介護、急性期医療から在宅医療まで網羅しております。各施設間で「連携」することが、患者さんにとっていかに重要であるか再確認する良い機会となりました。







第二部では、白十字会グループ各施設からの発表とディスカッションを行いました。各施設からの発表では、これからの未来について、施設ごとの取り組みや展望を知る良い機会となりました。職員一人ひとりが未来について考えて、理解し、行動することが、地域のニーズに応え続けるために必要不可欠です。これ

からも白十字会グループは地域のみなさまに必要としていただけるよう、日々精進していきたくと思います。

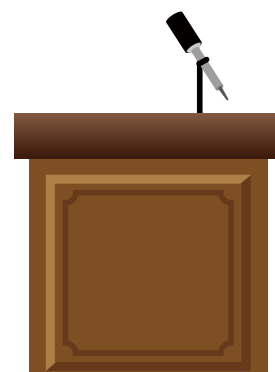
ディスカッションでは、各施設からパネリストを招き、看取りについてスポットをあて、意見交換を行いました。「多死社会」に突入している日本において、人生の最期をいかに満足して過ごしていただくか、患者さん・ご家族のご希望をできる限り叶えられるように、私たち白十字会グループの各施設が実施していることや、ACP注1(アドバンス・ケア・プランニング)という考え方を踏まえながら討論しました。

また別会場では、当院の糖尿病センター長である松本一成医師によるセミナー「チーム医療へのひと手間 ～コーチングの利用～」も開催され、多くの職員が参加し、コーチングの手法について学ぶことが出来ました。

白十字会Instituteは、白十字会が100周年に向けて新たな一步を踏み出すべく、職員がその方向性を共有することができ、大変有意義なものとなりました。

注1 ACP(アドバンス・ケア・プランニング)とは・・・

患者さん本人と家族が医療者・介護提供者等と一緒に、意思決定能力が低下する場合に備え、あらかじめ終末期を含めた今後の医療や介護について話し合うことや、本人に代わり意思決定する人を決めておく過程を指す。



# 病院こども探検隊を開催しました

令和元年8月3日(土)、子どもたちが実際に医療現場を体験する「病院こども探検隊」を開催し、小学6年生32名が参加しました。「病院こども探検隊」は例年、募集から2日程度で参加希望者が定員に達するほどの、佐世保中央病院の人気イベントのひとつです。



当日は、感染制御部より感染や手洗いに関する講演を行った後、グリッターバッグによる手洗いチェックが実施されました。子どもたちは、普段の手洗いでなかなか汚れが落ちにくい箇所や念入りな手洗いが必要な箇所について学び、手洗いの重要性を再認識しました。

次に手術室では外科・脳神経外科の医師の協力のもと、実際の手術で使用する電気メスで鶏肉を切ったり、顕微鏡を使って小さく自分の名前を書いてみたり、普段は体験することができない特殊なシチュエーションに子どもたちは「テレビドラマの世界みたい!」と目を輝かせていました。また、当院医師も温かい眼差しで子どもたちに接していました。

他にも、リハビリテーション部では車椅子の体験や装具を着用し、体の自由が効きづらい状況での動作に悪戦苦闘したり、臨床検査技術部では臨床検査技師による心エコーの実演から実際にエコーを使った透視ゲームを楽しみました。

プログラムの最後には当院で働くさまざまな専門職を紹介するビデオを観た後、礎病院長より修了証が手渡されました。子どもたちの多くは「病院こども探検隊」の体験内容を自らの夏休みの自由研究のテーマ等に活用するようです。「病院こども探検隊」をきっかけに、参加した子どもたちが医療業界に少しでも興味を持ち、自身の将来の選択肢の1つに医療従事者という夢を持ち「佐世保中央病院で働きたい!」と思ってくれれば幸いです。



# 人間ドック機能評価優秀賞を 連続受賞しました

このたび、日本人間ドック学会より人間ドック健診施設機能評価(昨年受審)の結果に対して、『人間ドック機能評価優秀賞』を受賞いたしました。この賞は、機能評価の認定を受けた全国378施設(2019年4月時点)のうち、「非常に優れた取り組みを実施し、全国の模範となる健診施設」を表彰する目的で設けられており、今回は全国で9施設が表彰されました。また、4年前にも受賞しており、制定されてからの連続受賞は“全国初”の快挙となります。

今回の機能評価結果で、“優れている”と評価された点が

- 1) 保健指導の実施体制が整っている。
- 2) 保健指導が実施されている。
- 3) 悪性疾患に関する検査のフォローアップを実施している。
- 4) 継続的な業務改善に取り組む体制がある。

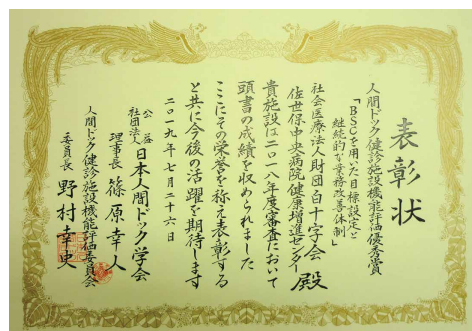
以上、4項目でした。

詳細内容はインターネットでご覧いただけます。

日本人間ドック学会：<https://www.ningen-dock.jp/list/func.php>

岡山市で行われた「第60回日本人間ドック学会学術大会」(本年7月25日～7月26日)において、当センターを代表して今里次長が表彰状の授与を受けました。

人間ドックに限らず健康診断は受診することが目的ではなく、健康診断結果を適切に活用することにあります。当センターの職員は、受診したみなさんの健康づくりのお役に立てるよう今後とも頑張っていく所存ですので、今後ともよろしくお願い申し上げます。







HAKUJYUJIKAI  
SINCE 1929

昭和4年(1929年)に初代理事長 富永猪佐雄が佐世保市宮崎町に佐世保中央病院の前身となる「富永内科医院」を開設する。その2年後の昭和6年(1931年)に佐世保市戸尾町へと移転するが昭和20年(1945年)の佐世保大空襲にて焼失。戦後の昭和21年(1946年)に仮設診療所にて診療を再開し、昭和22年(1947年)に仮設診療所を解体して木造2階建て病床数24床の新館を建設(写真)し、名称を「佐世保中央病院」と改める。

## おかげさまで 白十字会は 90周年を迎えました

2019年、私たち社会医療法人財団白十字会は、創業90周年を迎えることができました。これもひとえに、地域の皆さまのご支援とご愛顧の賜物と心より御礼申し上げます。これからも地域医療と介護を支え、皆さまのお役に立てるサービスを提供できるよう職員一同、より一層の精進をまいります。



社会医療法人財団 白十字会



# 佐世保中央病院 外来診療担当表2

令和元年7月

◎は新患のみ、○は新患・再診、□は再診のみ

科名	役職	氏名	月		火		水		木		金	
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
インターフェロン	副院長	木下 昇 <small>きのした のぶ</small>		○								
	副診療部長	木崎 嘉久 <small>きざき けいこ</small>		○ 第2,4週								
ペースメーカー	部長	中尾 功二郎 <small>なかお こうじろう</small>		○ 第2,4週								
	病院長	碓 秀樹 <small>すい ひでき</small>				○						
乳 腺	副診療部長	佐々木 伸文 <small>ささき のぶみ</small>	□	□							○	○
	医 長	稲益 英子 <small>いなえき えいこ</small>	○	○								
ストーマ	部長	草場 隆史 <small>くさば たかふみ</small>				○ 第2週						
	勤 務	菅村 洋治 <small>すがむら ようじ</small>			○	○						
禁 煙	部長	菅村 洋治 <small>すがむら ようじ</small>			○	○						
	部 長	谷口 真一郎 <small>たにぐち しんいちろう</small>										
ステントグラフト	担 当 医	担 当 医								◎		
	副診療部長	木崎 嘉久 <small>きざき けいこ</small>		◎ 第1週								
心臓弁膜症外来	部長	谷口 真一郎 <small>たにぐち しんいちろう</small>		◎ 第3週								
	副 部 長	中沢 将之 <small>なかざわ まさゆき</small>										
腹 膜 透 析	部長	中沢 将之 <small>なかざわ まさゆき</small>										
	臨床研修・研究 統括 部長	植木 幸孝 <small>うえき ゆきたか</small>				□ 第2週						
睡眠時無呼吸外来	センタ－長	井手 芳彦 <small>いで よしのぶ</small>	○	○			○	○	○	○	◎	
	認知症疾患医療センタ－	中尾 治彦 <small>なかお じゆん</small>	○	○			○	○	○	○	○	○
一 般 健 診	健康増進部部長	川内 奈津美 <small>かわうち なつみ</small>										
	医 員	寺園 敏昭 <small>てらその としあき</small>	○	○			○	○	○	○	○	○
健診産婦人科	特別顧問	石丸 忠之 <small>いしまる たけゆき</small>	○	○			○	○	○	○	○	○



【受付時間】 8:30～11:30 13:30～16:30 【診療時間】 9:00～12:00 14:00～17:00  
 【予約専用番号】 すべての診療科において時間帯予約をとっております。受診希望の方は、事前にご連絡いただき予約をお取りください。

☞再診／紹介状のない方☞

☞紹介状のある方☞

**0800-7000-888** (コールセンター)

**0120-33-8293** (地域医療連携センター)

- ・救急部は24時間体制です。
- ・医師の出張等により休診する場合がございます。

土曜日は、休日診療体制とさせていただきます。